

■ 掲示板

■ 東京大学物性研究所教員公募

下記により助教の公募を行いますので、希望者への周知または適任者の推薦をお願い致します。

1. 部署、公募職名及び人員数

物質設計評価施設 助教 1名

2. 職務内容

物質設計評価施設 X線測定室の管理・運営に従事するとともに、物性研究所内外の研究者と共同研究を積極的に行い、構造物性の視点に基づく物質開発・物性研究を強力に推し進める意欲のある若手研究者を求める。また、X線回折実験に関する全国共同利用の便宜を図る任務を負う。結晶構造解析に関する経験を有することが望ましいが、未経験者の場合には着任後これを習得することが求められる。

3. 応募資格

修士課程修了、またはこれと同等以上の能力を有する。

4. 任期

5年。ただし、審査の上、1回を限度として再任を認める。

5. 公募締切

平成25年3月1日(金)必着

6. 着任時期

決定後なるべく早い時期

7. 提出書類

- 推薦書または意見書
- 履歴書(略歴可)
- 業績リスト(特に重要な論文に○印を付すこと)
- 主要論文の別刷(3編, コピー可)
- 研究業績の概要(A4用紙2ページ以内)
- 研究計画書(A4用紙2ページ以内)
- 自己アピール(A4用紙1ページ以内)

8. 書類提出先

「物質設計評価施設助教応募書類在中」の旨を朱書し、下記住所まで書留にて郵送または持参すること。

〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号

東京大学物性研究所総務係

電話: 04-7136-3207 E-mail: issp-somu@kj.u-tokyo.ac.jp

9. 本件に関する問合せ先

東京大学物性研究所物質設計評価施設 教授 廣井善二

電話: 04-7136-3445 E-mail: hiroi@issp.u-tokyo.ac.jp

10. 選考方法

東京大学物性研究所教授会にて審査、決定する。ただし、適任者のない場合には決定を保留する場合がある。

11. その他

応募書類等は返却しないので、了解の上、申込むこと。また、応募書類は本応募の用途に限り使用し、個人情報と正当な理由なく第三者へ開示、譲渡及び貸与することはない。

■ 東京大学物性研究所教員公募

下記により准教授の公募をいたします。適任者の推薦、希望者の応募をお願いいたします。

1. 研究部門名及び公募人員数

極限コヒーレント光科学研究センター軌道放射物性研究施設
准教授 1名

2. 研究内容

本学が第3世代放射光施設 SPring-8 に整備したビームライン BL07LSU において、現スタッフと協力して新しい研究分野の開拓と共同利用実験の支援を行うとともに、高輝度軟 X線放射光を利用した物質科学を精力的に進める。

3. 任期

満56歳に達する年度の初めに任期制に入り、任期は5年とし再任は1回を限度とする。なお、任期制の詳細については下記問い合わせ先までお尋ねください。

4. 公募締切

平成25年7月31日(水)必着

5. 就任時期

決定後なるべく早い時期を希望する。

6. 提出書類

(イ) 推薦の場合:

- 推薦書(健康に関する所見を含む)
- 履歴書(略歴で可)
- 業績リスト(必ずタイプし、特に重要な論文に○印をつける)
- 主要論文の別刷(5編以内, コピー可)
- 研究業績の概要(2000字程度)
- 研究計画書(2000字程度)

(ロ) 応募の場合

- 履歴書(略歴で可)
- 業績リスト(必ずタイプし、特に重要な論文に○印をつける)
- 主要論文の別刷(5編以内, コピー可)
- 研究業績の概要(2000字程度)
- 研究計画書(2000字程度)
- 所属長・指導教員等による応募者本人に関する意見書(健康に関する所見を含み、作成者から書類提出先へ直送)

7. 書類提出先

〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5-1-5

東京大学物性研究所総務係

電話 04-7136-3207

e-mail: issp-somu@kj.u-tokyo.ac.jp

8. 本件に関する問合せ先

東京大学物性研究所極限コヒーレント光科学研究センター
辛 埴

電話 04-7136-3380

e-mail: shin@issp.u-tokyo.ac.jp

9. 注意事項

「軌道放射性研究施設准教授応募書類在中」、又は「意見書在中」の旨を朱書し、郵送の場合は書留とすること。

10. 選考方法

東京大学物性研究所教授会で審査決定いたします。ただし、適任者のない場合は、決定を保留いたします。

11. その他

お送りいただいた応募書類等は返却いたしませんので、ご了解の上お申込み下さい。また、履歴書は本応募の用途に限り使用し、個人情報とは正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

■ 会告

■ 日本放射光学会第96回評議員会議事録

日 時：2012年10月27日(土) 14:00~16:00

場 所：理化学研究所東京連絡事務所 会議室

出席者：雨宮健太、雨宮慶幸、岡島敏浩、尾嶋正治、鎌田雅夫、河田 洋、木下豊彦、木村 滋、木村真一、小杉信博、田中 均、谷口雅樹、野村昌治、水木純一郎(会長)、村上洋一、百生 敦、山本雅貴、横山利彦、木村洋昭(庶務幹事)、唯美津木(会計幹事)、玉作賢治(編集幹事)、松田 巖(行事幹事)、若槻壮市(2012年度渉外幹事)、松原英一郎(2013年度渉外幹事)、

欠席者：足立伸一、石川哲也、太田俊明、柿崎明人、籠島 靖、北村英男、木村昭夫、坂田 誠、繁政英治、辛 埴、初井宇記、渡邊信久

事務局：佐藤亜己奈(WORDS)、西野三和子(WORDS)

〈審議事項〉

- 0-1. 出席委員の自己紹介を行った。
- 0-2. 本会議の議長を野村評議員にお願いした。
- 0-3. 2012年10月1日より2013年度事業がスタートしたことを受け、水木会長より以下の活動方針に関する所信表明があった。
 - 1)放射光広報活動、学会会員の増加(特に学生会員)、2)将来計画(次期光源計画)を含めた放射光科学のビジョン・ロードマップの改訂版が2月~3月に完成：日本学術会議「学術の大型施設計画・大規模研究計画一企画・推進策の在り方とマスタープラン」への反映、3)若手研究者の育成、4)アジア・オセアニアフォーラム(AOFSRR)の継続と発展(AOFSRR2013の日本開催)、SESAME 支援、5)財政基盤の確立：多色刷りから2色刷り、完全電子化へ。6)2013年度からの渉外幹事(若槻壮市氏から松原英一郎氏に交代)について説明があった。7)会員総数の推移、とくに学生会員の大学別分布状況を確認した。
1. 2013年度学会組織および事業計画
木村庶務幹事より2013年度の学会組織(会長、幹事、評議員、各委員会委員)について説明があり、これを承認した。また、評議員会出席者(幹事、評議員)の地域分布に関して、関東・東北地方(10名)、中部地方(7名)、関西地方(17名)であり、ふたつの地域に分けてのテレビ会議が可能かどうかを検討したい旨の説明があった。さらに2013年度の事業計画について説明があり、これを承認した。
2. 2013年度渉外幹事活動方針
松原2013年度渉外幹事より2013年度活動方針として、2014年が世界結晶年になったことが報告された。放射光学会とし

ては2014年1月の年会・合同シンポで、「放射光と結晶(学)」に関する世界結晶年記念行事の開催を検討することについて説明があった。また、2014年は本学会設立25周年にもあたるので、そのことを含んだAOFSRR2013の日本開催、および国内他学会へのアピールを検討していくことを承認した。

3. 2013年度行事幹事活動方針

松田行事幹事より2013年度の活動方針について、2013年度行事委員会構成について説明があった。また、第26回年会・合同シンポ(JSR13)は、2013年1月に愛知県名古屋市で開催、第27回年会・合同シンポ(JSR14)は、2014年1月に広島県(広島市または東広島市)で開催の予定について説明があった。さらに、若手研究会、放射光基礎講習会を継続して開催することが報告された。なお、AOFSRR2013の日程(2013年9月22-23日_姫路)とケイロンスクールの日程とのリンクについて検討することを承認した。

4. 2013年度編集幹事活動方針

玉作編集幹事より2013年度の活動方針について、2013年度編集委員会構成について説明があった。出席評議員より委員の所属に偏りがあることが指摘された。編集委員会の人数枠に制約が無いことを確認し、評議員各位に委員候補者(一般ユーザーの会員)を推薦していただくことを確認した。さらに玉作編集委員より学会誌印刷費について、2011年度実績(カラー)と2012年度実績(2色刷り)の会誌収入(広告・販売・別刷)と会誌出版費(印刷費・原稿料・送料)の収支差額について、報告があった。そして2013年4月から電子化した場合は、その収支のバランスは著しく悪化する旨の説明があった。それを受けて、広告、冊子体の別売り(有料)等に関する様々な議論があったが、今後、電子化に伴う諸問題について渉外委員会と共にさらに検討し、会員へのアンケートを行い、2015年1月からの電子化を目指して進めていくことを承認した。

5. 2012年度決算(案)・2013年度予算(案)

唯会計幹事より2012年度の決算(案)、2013年度予算(案)について説明があった。収入に関しては未収会費を回収したこと等、支出に関してはワーズの事務委託費をまとめて分かり易くしたこと等が報告され、収支のバランスを確認しこれを承認した。

提出された1987年~2012年の学会会計の推移(年間収入・年間支出・年間損益・累積残高)について、出席評議員より2011年度の損益のマイナスに関する質疑があり、木村庶務幹事より会計基準を変えたためであることが説明された。

続いて唯会計幹事より2013年度の予算(案)について説明があった。収入に関しては特別賛助会員会費収入が新たに加わった他は、2012年度よりやや少ないが、支出に関して学会誌(2色刷り)の経費節減が反映された収支のバランスを確認しこれを承認した。

2011-2013年度の本学会の事業ごとの収支決算と予算(案)が提出された。

6. 第17回学会奨励賞選考結果

水木会長より3件の応募について学術賞等選考委員会で選考した結果、下記の2名を第17回学会奨励賞の受賞者として推薦する旨の報告があり、審議の結果承認された。

和達大樹会員(東京大学大学院量子相エレクトロニクス研究センター)

「遷移金属酸化化合物薄膜の共鳴軟X線散乱による研究」
篠原佑也会員(東京大学大学院新領域創成科学研究科)

「X線光子相関分光法を用いたゴム中のナノ粒ダイナミックスの観察」

7. 放射光将来計画特別委員会報告

水木会長より学会誌(2012年11月号)に掲載する「放射光将来計画特別委員会報告」が提出され、本報告書の取り扱いは報告事項である旨の説明があった。

8. 会員の移動と退会

木村庶務幹事より第95回評議員会以降の入退会申請者に関して、入会：正会員75名(うち学生会員57名)の報告があり、これを承認した。退会に関して、退会：正会員25名(うち学生会員1名)を確認した。2012年10月22日現在の総会員数は1,352名(うち学生会員119名)、名誉会員5名、シニア会員5名、賛助会員42社(44口)、特別賛助会員5団体(6口)。また、会費3年間未納のための自動退会者36名を確認した。このリストに載るまでに本人には督促をしていたこと確認した。

9. 協賛・後援について

若槻2013年度渉外幹事より本学会に対する協賛・後援依頼について報告があり、協賛6件、後援0件を承認した。

〈報告事項〉

1. 2012年事業報告

木村庶務幹事より2012年度事業について報告があった。

2. 合同シンポ(JSR13)準備状況

松田行事幹事より第26回年会・合同シンポ(JSR13)の日程案(2013年1月12日(土)-14日(月・祝))、会場(名古屋大学_坂田・平田ホール/ES総合館)、タイムテーブル(オーラル4パラレル+企画+ポスターセッション+見学等)の準備状況に関する報告があり、特別講演、企画講演、市民公開講座の概要について確認をした。

また、現在の登録状況(発表件数・企業展示申込状況・招待講演等)について報告があり、招待講演の場合は会員資格を問わないことを確認した。

さらに準備から開催までのスケジュール(案)および学生発表賞の概要について確認した。なお、第27回年会・合同シンポ(JSR14)の開催地：広島大学、会場：広島市か東広島市(検討中)、日程案：2014年1月11日(土)、12日(日)、13日

(月)について確認した。

3. 第4回放射光基礎講習会実施報告

松田行事幹事より2012年8月3日(金)-4日(土)に東京大学工学部52号講義室で開催された第4回放射光基礎講習会「やさしい現代放射光科学講座」に関する実施報告があった。講習会参加者は89名、交流会参加者48名。

4. 第4回若手研究会実施報告

松田行事幹事より2012年8月29日(水)-30日(木)に東京大学山上会館大会議室で開催された第4回若手研究会「表面電子のスピンが生み出す物理の最前線-ラッシュバ効果、トポロジカル絶縁体」に関する実施報告があった。

5. 会誌編集状況

玉作編集幹事より会誌の進捗状況について報告があった。また、「ビームライン光学技術入門」については、学会での増刷に関する報告があった。

6. 渉外委員会報告

2012年度若槻渉外幹事より学会誌の電子化に伴う学会ホームページの改訂について、現在の学会体制にはWeb委員会が設定されていないので、渉外委員会で責任を持つことになる旨の説明があった。渉外委員会メンバーに委員を追加することになり、候補者に対して事務局は委嘱状を発送することとした。

2013年度松原渉外幹事より、学会ホームページを充実させていくことと、学会誌電子化に向けて現在何が必要なのか、具体的な作業プランを立てることから始めたいという説明があった。

7. 6TH AOFSRR 報告

水木会長より6TH AOFSRR (August 8-12, 2012, Bangkok)の開催について報告があった。また、The 6TH AOFSRR Cheiron School 2012の報告については、今後、できるだけ多くの日本人(とくに学生)が参加し易い状況を整える方向で検討していくこととした。

7TH AOFSRR 2013 (2013年9月22日(日)、23日(月・祝)、姫路)での開催について、準備状況に関する報告があった。

8. 会費未納者(2年分未納)

木村庶務幹事より、会費を2年分滞納している会員のリストが提出された。3年滞納者予備軍なので、知人が居たら声をかけて欲しいという要請があった。

評議員会日程(予定)の確認

第96回評議員会 2012年10月27日(土)

場所：理研東京事務所

第97回評議員会 2013年1月13日(日)

場所：名古屋大学 ES 総合館

第98回評議員会 2013年4月13日(土)

場所：理研東京事務所

第99回評議員会 2013年7月13日(土)

場所：理研東京事務所

(7/13はVUV2013と重なっているため、再調整を行う)

■会員異動

第96回評議員会(2012年10月27日)で承認

《正会員入会》

稲見 俊哉 日本原子力研究開発機構, 量子ビーム応用研究部門, 量子構造研究グループ
山城 亮 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻酒井広文研究室
石井 伸也 三菱重工業 高砂研究所
金谷 利治 京都大学 化学研究所 高分子物質科学研究領域
花田 賢志 九州大学シンクロトン光利用研究センター
佐野 則道 (公財)高輝度光科学研究センター 産業利用推進室
田川 美穂 名古屋大学大学院工学研究科マテリアル理工学専攻
藤田 貴弘 公益財団法人 高輝度光科学研究センター 加速器部門
白川 哲久 公益財団法人 高輝度光科学研究センター
綿貫 徹 原子力機構・量子ビーム・高密度 G
高野 琢 名古屋大学シンクロトン光研究センター
Hu Wen 日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究部門
田原 大輔 豊田工業大学
井波 暢人 高エネルギー加速器研究機構
小川 雅裕 立命館大学, SR センター
村尾 玲子 新日鐵住金株式会社 先端技術研究所 解析科学研究所
檜垣 勇次 九州大学 先端物質化学研究所 高原研究室
難波 優輔 産業技術総合研究所エネルギー技術研究部門エネルギー界面技術グループ

以上18名

《学生会員入会》

柘 健太 群馬大学大学院工学研究科電気電子工学専攻 伊藤正久研究室
Liu Ying 京都大学工学研究科材料工学専攻
小川 友以 九州大学大学院総合理工学府量子プロセス理工学専攻 辻吾郷研究室
本谷 友作 京都大学工学研究科原子核工学専攻量子システム工学研究室
Torgasin Konstantin 京都大学エネルギー理工学研究所粒子エネルギー研究分野
渡部 慧 東京大学新領域科学研究科雨宮研究室
名越 健誠 東京大学大学院新領域創成科学研究科物質系専攻百生研究室
山本奈央子 東京大学工学部物理工学科雨宮研究室
吉井 輝明 東京大学工学部物理工学科雨宮研究室
山村 周玄 東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻和達研究室
木村 耕治 京都大学大学院理学研究科不規則系物理学研究室
帆足 宏一 広島大学理学部物理科学科構造物性研究室
安田 智史 広島大学大学院 理学研究科 物理学専攻 構

造物性研究室

内山 智貴 九州大学大学院総合理工学府 寺岡・永長研究室
Hosibaatar Uljiitogtoh 千葉大学 融合科学研究科
岡本 和晃 広島大学大学院 理学研究科 物理学専攻 光物性研究室
今井 亮 兵庫県立大学工学部 高度産業科学技術研究所 神田研
森 健雄 大阪大学基礎工学研究科物質創成専攻物性物理学領域 関山研究室
山本 崇善 京都大学大学院工学研究科材料工学専攻 先端材料機能学研究室
澤田 沙希 兵庫県立大学大学院 物質理学研究科 籠島研究室
前田 一誠 東京理科大学理学部応用化学科中井研究室
板倉 勇太 大阪大学理学研究科高分子科学専攻超分子構造解析学研究室
中村 彩奈 東京理科大学, 理学部, 応用化学科, 中井研究室
西澤 一晃 名古屋工業大学大学院 工学研究科 博士前期課程 未来材料創成工学専攻 固体力学物性研究室
林 大介 佐賀大学シンクロトン光応用研究センター
中村 康寛 福井大学 大学院工学研究科 電気・電子工学専攻 電子材料研究室
白井 開渡 広島大学大学院, 理学研究科, 物理学専攻, 光物性研究室
河口 智也 京都大学工学研究科材料工学専攻材料設計工学研究室
小林 周 慶應義塾大学物理学科中迫研究室
穴見 峻平 佐賀大学, シンクロトン光応用研究センター, 鎌田研究室
小川 智史 名古屋大学エコトピア科学研究所八木研究室
大澤 周平 名古屋大学大学院工学研究科マテリアル理工学専攻 曾田研究室
関田 創 名古屋大学大学院工学研究科マテリアル理工学専攻材料工学コース高嶋・伊藤研
徳田 一弥 京都大学大学院 工学研究科 材料工学専攻 松原研究室
中谷 貴司 関西学院大学理工学研究科物理学専攻高橋研究室
上田 佑紀 佐賀大学 シンクロトン光応用研究センター
徳江 真紀 東京大学大学院新領域創成科学研究科物質系専攻 佐々木研究室
松下 祐福 東京大学大学院新領域創成科学研究科物質系専攻 佐々木研究室
植村 智之 兵庫県立大学工学部応用物質科学科物質制御計測化学研究グループ
廣友 稔樹 兵庫県立大学大学院 物質理学研究科 籠島研究室
作花 賢治 兵庫県立大学大学院物質理学研究科籠島研究室
川上 遼 名古屋大学大学院工学研究科マテリアル理工学専攻(高嶋・伊藤研究室)
山口 貴司 大阪大学大学院 基礎工学研究科 物質創成専攻物性物理学領域 関山研究室

平賀 健太	横浜国立大学工学部物理情報工学専攻物理工学 コース田中正俊研究室	古宅 伸	大阪大学大学院工学研究科精密科学専攻山内研究 室
坂本 英城	名古屋大学工学研究科結晶材料工学専攻生田研究 室	立花 徹也	東北大学多元物質科学研究所上田研究室
河野由布子	東京理科大学大学院総合化学研究科総合化学専攻 中井研究室	オルビナード マーシー	東京大学大学院新領域創成科学研究科 以上57名
波多 良亮	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科バイオ ベースマテリアル学専攻ナノ材料物性研究室	《特別賛助会員入会申込団体》	
東 宏昭	兵庫県立大学大学院物質理学研究科籠島研究室	広島大学放射光科学研究センター (1口)	
下村 翔	兵庫県立大学大学院物質理学研究科籠島研究室	独立行政法人理化学研究所 播磨研究所 (2口)	
木村 美紅	東北大多元研上田研	以上2団体3口	
本山 央人	東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻三村研 究室	《退会会員》	
石井 和栄	京都工芸繊維大学大学院, 工芸科学研究科, ナノ 材料物性研究室	正会員24名, 学生会員1名	
久米 健大	東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻三村研 究室	《会員数》	
福井 亮介	大阪大学工学研究科精密科学・応用物理学専攻精 密科学コース山内研究室	会員1352名(内学生119名) 名誉会員5名 シニア会員5名 賛助会員42社(44口) 特別賛助会員5団体(6口)	

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 玉作賢治
渉外幹事 松原英一郎

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr261

Password : ni3u7Aos

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、松原 (matsubara.eiichiro.6z@kyoto-u.ac.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、玉作 (tamasaku@spring8.or.jp) までお願いします。